

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業効果検証シート

No. 29

1.事業名	主食用米生産緊急支援事業			
2.担当部署	産業経済部			
3.事業の概要	<p>新型コロナウイルスの影響等により主食用米の米価下落した市内水稻農家へ対し、10a当たり4千円を交付する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主食用米作付面積又は生産の目安が10a未満は対象外 ・主食用米に対する生産の目安の面積を上回った面積は対象外 			
4.事業の目的	<p>新型コロナウイルスの影響が長期にわたり続いており、飲食店等の経営に大きな影響を与えている。このため農産物の需要が減退し、米価にも影響が出たことから、経営面積に応じた補助金を交付し、主食用米の生産農家に対し経営継続のための下支えや、次期作の意欲向上に向け、支援することを目的とする。</p>			
5.事業対象	市内水稻農家（法人含む）			
6.年度末状態	年度内完了			
7.事業予算（決算）	314,253千円	執行額	299,102千円	執行率 95.18%
8.事業評価	非常に効果的であった			
9.事業評価理由	<p>登米市の耕作面積は約15,000haであり、そのうち令和3年度の水稲作付面積（米形態転作含む）は約11,000haに作付けが行われた。令和4年度作付けについても、令和3年度同様の面積である約11,000haが作付されたことで、次期作に向けた支援ができ、事業の目的は達成できたものと思われる。</p>			
10.事業の課題	課題なし			
11.課題の要因	課題なし			
12.令和4年度の方向	事業終了			